

日高町60年の歩み

—町制施行60周年記念講演会—

11月23日(日)、日高町農村環境改善センターにおいて町制施行60周年記念講演会が催され、『五体不満足』の著者・乙武洋匡さんを迎えて、講演会「みんなちがって、みんないい」が開かれました。

講演会にはおよそ700人が来場され、始めに、松本町長が「60周年という節目を迎え、将来に目を転じますと、少子高齢化や子育て、防災対策など様々な課題が浮き彫りとなってきました。先人の残した60年の足跡をしっかり見つめ直し、町民の意見を聞きながら、事務事業の見直しと効率化でこれらの課題に取り組む所存でございます。今後とも、みなさまとともに住みよい町づくりに全身全霊を捧げ、『笑顔で健康に暮らせる町づくり』を目指してまいります」と挨拶。

また、乙武さんは講演の中で「差別や偏見をなくそうというメッセージも大事だけど、色々な人と接して慣れることが大事です」と話され、小学校の先生をしていたときのエピソードなどを紹介。来場者からの「普段の移動はどうされているのですか」「子どもの頃の夢・将来の夢を教えてください」といった質問に快く答えていました。



講演された、乙武洋匡さん



声援を受け元気いっぱい

—志賀小・校内マラソン大会—

12月3日(水)、志賀小学校(井本善也校長)で校内マラソン大会が開かれ、全校児童163人が寒空の下を力走しました。

1・2年生は1km、3・4年生は1.5km、5・6年生は2kmの、学校周辺のコースをそれぞれ快走。普段の練習の成果を発揮して、元気いっぱい走り抜けました。コース沿いには保護者らが駆け付け声援と拍手を贈ったほか、志賀保育所の園児らも沿道から「がんばれー」と声援を送りました。

上位入賞者は、次の通りです。(敬称略)

【男子】▽1年①濱口友②安山仁③中村泰晴▽2年①永井翔②竹谷悦輝③湯川寛生▽3年①藤本勝巴②稲垣叶大③上野楓太▽4年①小川吉紗②舛田陸人③稲葉諒介▽5年①濱口颯②深海響輝③初井廉▽6年①湯川史也②森陰叶夢③小川零生

【女子】▽1年①田中みずき②鈴木唯迦③鈴木愛梨▽2年①小川千晴②土屋舞歩③出水あずみ▽3年①原星空②酒井飛香③楠原真生▽4年①中瑚乃葉②小出樹季③津村風香▽5年①鈴木綾夏②野上稀衣③木下彩芽▽6年①稲垣愛菜②伊藤彩光③津村咲希

ゲームやものづくりを楽しむ —内小文化祭—

11月19日(水)、内原小学校(塩崎貢校長)で文化祭が開かれ、児童らがゲームやものづくりなどを楽しみました。

文化祭では、6年生が運営するコーナーを1年生～5年生の児童らが巡回。体育館では、ストラックアウト、9.99秒、ヨーヨー釣り、ボウリング、カーリング、わなげなどのゲームに挑戦しました。

また、各教室ではプラ板やぶんぶんゴマなどのものづくりや、ミニどら焼き、ミニピザなどの食べ物づくりを楽しみました。プラ版作りに挑戦した2年生の船木陽菜子さんは「ルルロ口のプラ版を作りました。難しそうだったけど、やってみたら楽しかった。絵を描くのが好きです」と話していました。



昔ながらの遊びで交流

—比井小祭り—

11月21日(金)、比井小学校(玉置雅己校長)で比井小祭りが催され、児童らと保護者や地域の方が昔ながらの遊びやものづくりで交流しました。

「地域の人と交流し、協力し合う比井小祭り」をテーマに開催され、児童らと来場者らはおりがみ、あやとり、竹馬といった昔ながらの遊びを楽しみました。ものづくりコーナーでは、児童らがそれぞれのコーナーを担当し、べっこう飴やスライム、万華鏡作りなどを来場者に体験してもらいました。

また保護者らが、秋に児童らが収穫したお米を使ったおにぎりとおみそ汁を用意。地域の方に振る舞われました。

